

防災無線の入札に情報漏えいがあったのではない

正確な積算が行われた結果である

ミル川 村川 徳浩



スマホはこちら

Q 防災行政無線のデジタル化工事が、最低制限価格7億6406万8千円ぴったりで落札された。73ページもの設計書を考えると常識的にはありえない事で、情報漏えいが疑われる。市はこれを事業者が詳細な設計を行った結果と考えるのか。

A 事業者が詳細な積算を行った結果、一致したものと考える。

Q 市長も総務部長も情報漏えいの当事者となりうる立場である。その市長が担当者に漏えいがなかったか確認させても誰も納得しないと思う。落札した事業者に詳細な積算根拠を提出させる考えはあるか。

A 法令を遵守し適正に対処している。提出させる必要は無いと考える。

Q 関係書類の情報公開請求をしたが、入札金額見積内訳書の一部が公開されなかった理由は何か。

A 条例に基づき、公開すると当該法人の競争上の地位、その他正当な利益を害すると判断したためである。

「花園IC拠点整備プロジェクト」の進捗状況は

Q 完成が遅れば余計な税金投入が必要になるが、工期が1カ月遅れた場合、経費はどのくらいかさむか。

A 物価上昇・消費税率改定の影響を受け事業費の増加が懸念される。ひと月あたりの人件費として約750万円が見込まれる。

Q 遅れている原因は何か。

A 農振除外手続きの中で、市の決定に対し、埼玉県に不服申し立てが提出されたためである。

1. 工事の名称	深谷市防災行政無線回線高デジタル化整備工事	
2. 工事場所	深谷市神野町地内ほか	
3. 設計額	1,031,485,600 円	実 施 額
(但し、工事価格)	955,060,000 円	(但し、工事価格)
4. 変更設計額	円	変更実施額
(但し、工事価格)	円	(但し、工事価格)
差引増減額	円	
5. 工事の概要・起工費要理由		
実 施 工 事 大 要	消防本部無線設備一式、市民無線機用無線機一式	
工 事 大 要	再送信機一式、再送信機用無線機一式、無線機用電源一式、無線機用電源一式、無線機用電源一式	
実 施 理 由		
起 工 理 由	深谷市防災行政無線回線高についてデジタル化整備工事を行う。	

デジタル化整備工事 設計書

新駅の乗降客数は758人とのことだったが実際は

平均143人である

佐久間 奈々



スマホはこちら

Q ふかや花園駅建設着工以前の議会で新駅の必要性を質問した際、市の答弁は、新駅の設置により周辺住民の利便性が向上し、その結果、乗降客数は地元周辺だけで一日758人とのことだった。駅がオープンした現在、乗降客数は何人なのか。

A 一日平均は143人である。

Q 花園IC拠点整備プロジェクトにより1500人の雇用を創出するが、市はプラスの売り文句にしているが、現在、人材確保が困難であり、人材難から倒産する企業もある。このような状況下で1500人の雇用の発生は地元産業の人材難に拍車をかけるのではないかと懸念されるが、市はそういった認識があるか。税投入し企業誘致を行うのであるから、開発主体者として地元産業に与える影響を調査し、調査に基づき対策を講じるべきだと思うが市の見解は。

A プロジェクトによる1500人の雇用の発生がマイナスの効果を与えるという認識はない。また、与える影響を調査し、結果に基づき対策



高齢者肺炎球菌ワクチン、接種対象者に周知徹底を

様々な方法で周知を強化していく

五間 くみ子



スマホはこちら

Q 定期接種となつて5年間は、国の経過措置とともに、本市においては、希望する65歳以上の方に接種の機会があったが、来年3月で終了となる。どのように周知を図るのか。

A 経過措置が終了するお知らせのポスターとチラシを作成し、公共機関等へ掲示している。また、各種機会を捉え周知を図ってきたが、今後さらに周知の強化に努めたい。

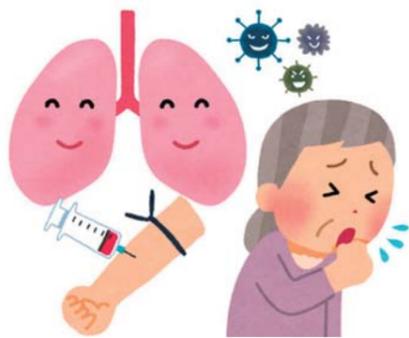
「公民館使用料の見直しを」

Q 公民館の使用料は、登録団体に50%の減免のほか、構成員に応じた減免が規定されている。そこに「構成員が障害者の団体」を設けることはできないか。

A 利用状況を把握し検討していく。

「地域支援事業」

Q 「住民主体の通いの場」状況は、市内14力所、地域の中で歩いて通える集会所等で、週一回継続して「深谷ふっかつ体操」を行っている。



市立川本中学校に武道場（柔道・剣道）の建設を

校舎の老朽化対策に重点を置いており、建設は厳しい

清水 修



スマホはこちら

Q 川本中学校の柔道部、剣道部は武道場がないため、体育館をほかの部と併用している。そのためスペースが狭く、生徒や保護者から「思い切った練習ができない」という声や、けがなどを心配する声が上がっている。武道場の建設を。

A 合併以前に10校中9校は武道場が整備され、川本中学校が唯一の未整備校となっている。市は校舎の老朽化対策に重点を置いているため、武道場の建設は厳しい。



「多面的機能支払 交付金の活用を」

Q 高齢化などにより、排水路の泥上げや、のり面の草刈りが奉仕活動の限界を超えてしまう地域がある。事態を打開するために、交付金を活用できないか。

A 多面的機能支払交付金は、農林水産省の補助事業で、草刈りや水路の泥上げなど地域の共同活動を交付金により支援する制度。市では、現在39組織が活動しており、今後も、地域の共同活動を支援していきたい。

「基金の活用で 市民サービス向上を」

Q 118億円の財政調整基金は、余りにも多すぎるのではないかと、どのような活用を想定して積み立てているのか。多額の基金を活用して市民サービスの向上を図るべきでは。

A 財政調整基金は「将来にわたる市財政の健全な運営に資するため」必要な調整財源として活用していく。今後も持続可能な財政運営と必要な市民サービスの提供に努める。



川本中学校体育館